

2021年10月14日

「都市の緑3表彰」の受賞者決定について

第一生命保険株式会社(社長:稲垣 精二)が特別協賛する「都市の緑3表彰」の受賞者が別紙のとおり決定しました。

1. 第32回「緑の環境プラン大賞」

(主催:公益財団法人都市緑化機構、一般財団法人第一生命財団)

緑豊かな都市環境で育まれる人と自然とのふれあいやコミュニティ醸成等の実現に資する緑化プランについて、優秀作を表彰するとともに、そのプラン実現のために緑化整備費を助成するものです。

2. 第41回「緑の都市賞」

(主催:公益財団法人都市緑化機構)

緑豊かな都市づくりの推進を目的に、緑を用いた環境の改善、景観の向上、地域社会の活性化等に先進的かつ意欲的に取り組み、良好な成果を挙げている市民団体、企業、地方公共団体等を表彰するものです。

3. 第20回「屋上・壁面緑化技術コンクール」

(主催:公益財団法人都市緑化機構)

都市環境の改善と豊かな都市生活の実現を目的として、これまで緑化が困難とされてきた屋上、壁面等の特殊空間の緑化に積極的に取り組み、優れた成果をあげている団体、個人等を表彰するものです。

当社は、社会貢献取組方針¹の中心テーマの一つとして掲げる「環境の保全」、さらにはSDGsの目標11(住み続けられるまちづくりを)、目標13(気候変動に具体的な対策を)に資するものとして、都市緑化の推進や景観の向上、地域社会の活性化など、それらを通じた地域コミュニティの形成等につながる当賞を長年にわたって支援しています。



(別紙1)第32回「緑の環境プラン大賞」審査結果

(別紙2)第41回「緑の都市賞」審査結果

(別紙3)第20回「屋上・壁面緑化技術コンクール」審査結果

¹ 詳細は「<https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/basic.html>」をご覧ください。

第32回 緑の環境プラン大賞 審査結果

全国から、シンボル・ガーデン部門 24 点、ポケット・ガーデン部門 24 点、計 48 点の応募があり、次の団体の受賞を決定しました。

■シンボル・ガーデン部門(助成額上限:800万円/点)

地域のシンボリックな緑地として、人と自然が共生する都市環境の形成、および地域コミュニティの活性化に寄与するプラン

■ポケット・ガーデン部門(助成額上限:100万円/点)

日常的な花や緑の活動を通して、地域コミュニティの活性化や、学校等での情操教育、身近な環境の改善等に寄与するプラン

◎国土交通大臣賞 <2点>

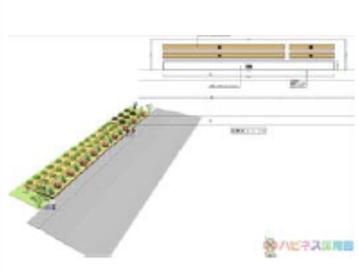
部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	ビバテラス・まなびの森庭プロジェクト (岩手県盛岡市)	ビバテラス BeBA TERRACE 運営協議会	公民連携による公園の整備運営に取り組む事業で、「あそび」と「まなび」をコンセプトに建物を包む明るい広葉樹林と広々とした芝生、美しい花を愛で野菜づくり等が学べるガーデンをつくり、人々が憩い、遊び、ふれあえる空間の創出を目的とする。 また、行政に頼らない都市公園経営を目指す。	
ポケット・ガーデン	園庭まるごと ビオトーププロジェクト (福島県郡山市)	社会福祉法人 どろんこ会 八山田どろんこ 保育園	地域と子ども達と一緒に自然と共生する場を創り、次世代の子ども達と SDGs を考えることを目的とする。 <地域>自由に行き来し、人が繋がりが合うコミュニティの場の形成 <環境>命の営みを感じる園庭で五感を使い地球環境を考える場の形成 <循環と共生>全ての生き物が支え合い、共に暮らしていることを体験から感じる場の形成	

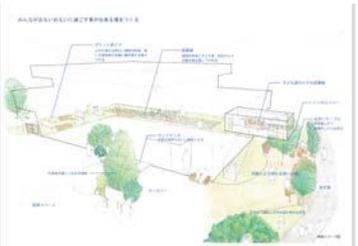
◎緑化大賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	(仮称) 九段南一丁目 プロジェクト 九段ひろば (東京都千代田区)	合同会社 ノーヴェグランデ	皇居お堀端に立地する九段会館の建替えに伴う、緑・水・歴史を感じられる外部空間づくりを通して、施設利用者や近隣住民、オフィスワーカー等の憩いと交流の場を創出する計画。子ども達が花植えに参加する花壇や、近隣住民が収穫に参加する菜園をつくり、都心にありながら人々が能動的に関わる緑地づくりを目指す。	

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
シンボル・ガーデン	唐招提寺 「香りの薬草園」 鑑真和上才花苑 (奈良県奈良市)	宗教法人 唐招提寺	ユネスコより「古都・奈良の文化財の一部」として世界遺産に登録されている唐招提寺の境内に鑑真和上ゆかりの「香りの薬草園」を創設し、国内外からの参拝者に広く公開するプラン。作業には地域住民や近隣の子どもの参加を得るなど地域の交流に資するとともに、訪れた人々が癒しや活力を得ることができる薬草園を目指す。	

◎コミュニティ大賞 <9点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	日本の四季を五感で感じ、食育活動に繋がる保育園 (宮城県石巻市)	株式会社 エルプレイス ハピネス保育園 南境	子どもたちと季節に合った野菜を育て・収穫し・食すまでの一連の流れを体験し、命の大切さを感じることができる畑を作る計画。畑を野菜や花で彩ることで、子どもたち・職員・地域の人にも癒しを与えることができる保育園作りとともに、保育園が地域交流の場となることを目指す。	
	あびっこたちの『ぼうけんやま』 (千葉県我孫子市)	社会福祉法人 樹聖華みどり保育園	多くの参拝客のある鎮守の神社と隣接し、市道にも面していることから、地域の人々の目に触れやすい保育園の園庭に3つのブースに分けた築山を作る。お散歩する親子や神社を参拝する人が、築山に登ったり、畑を見たり、丸太道を歩いたり、疲れた時にはケヤキやイチョウの木陰で休んだりして、園児たちと交流する事を目指す。	
	五感で感じる色彩と香り。時を越えて紡がれる記憶 (静岡県浜松市)	社会福祉法人 慈愛会 瞳ヶ丘こども園	園庭で体験した心地よい風、葉のざわめく音、草花の香り、木の実の感触。感覚の記憶は子ども達の大切な財産。特に五感の中で最も記憶と結びつく「香り」という要素を遊びや保育活動の中に取り入れるとともに、季節ごとの特徴的な「香り」を放つ木々を植え、地域の方にも香りから季節感を感じてもらおうという計画。	
	-すべてを育む、風の吹く丘- 「育むガーデン河芸」 (三重県津市)	渡辺硝子 株式会社	道の駅と近接し、交通の要所で食を中心とした地産地消の情報発信エリアとなっている元農地約 2000坪の遊休地全体を使い、「育むガーデン河芸」を創出する計画。観賞用のガーデンではなく、ここを訪れる皆で育むガーデンとし、周辺の方々にも野外教育を目的に広く開放する。	

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
ポケット・ガーデン	地域を結び、世代を結ぶ。食育庭園『ゆうわの庭』(兵庫県神崎郡市川町)	特定非営利活動法人 合氣道播磨裕和会	100年前には地域や世代が集う、文字通り「中の家」であった屋敷の庭に、今春、同会が障がい児通所支援事業としての「ゆうわ・あいき」を開設。今後、過疎地のコミュニティを再生する必要性から、この広大な「ゆうわの庭」が地域愛を育む食育拠点ともなるように緑化整備していく計画。	
	古都に広がる里山の彩り(奈良県奈良市)	奈良・人と自然の会	平城宮跡地区歴史的風土保存地区にある「ならやま里山林」は、長らく放置され荒廃していたが、同会が管理を受託して、今は地域住民が訪れる憩いの場となった。これをさらに、子どもたちが学び、遊び、つながるための場として活用するとともに、多くの生き物が生息できる環境を育む計画。	
	令和に伝えるふるさとの自然「ふれあい里山ガーデン」(広島県広島市)	広島市立 倉掛小学校	倉掛小学校がある場所は、かつては豊かな里山だった。今回の計画は、「現在の観察池を中心に緑地を整備してホタルを育て、他の生き物も育つ」「周辺の多様な昆虫が集まるゾーンとアケビや栗やクルミ、山椒など里山の実りを体験できるゾーンをみんなでつくり育てる」ことで、今も残るふるさとの自然を愛し守ろうとする心情を養うというもの。	
	地域の寄り処『ふるりの庭』へ(福岡県糸島市)	西日本短期大学 緑地環境学科 山本ゼミ	本企画は、『介護老人保健施設ふるりの』の利用者の心身のリハビリ・機能回復とともに、地域住民と関わりをもっていただくことが目的。また、「同地域で課題となっている竹林拡大阻止とヒートアイランド緩和に寄与するため園路を竹チップ舗装とする」「地域住民と協働の維持管理をする」という計画。	
	もりのちいさな図書館～ひろがりのなる庭～(熊本県葦北郡芦北町)	NPO 法人みさと	デイサービス利用者と地域住民、地元の子どもたちとの交流の場にしようと計画され、令和2年7月豪雨により一端中止されたものの、水害後だからこそ必要との思いでできた『もりのちいさな図書館』。水害の爪痕が残る中で図書館の周りに緑を増やし、癒しの空間づくりと共に安心、安全な居場所、世代を超えた地域交流が深まる場とすることを目的とした計画。	

第 41 回 緑の都市賞 審査結果

全国から、緑の市民協働部門 20 点、緑の事業活動部門6点、緑のまちづくり部門2点、計 28 点の応募があり、次の団体の受賞を決定しました。(副賞:「緑の市民協働部門」のみ5~20 万円)

◎内閣総理大臣賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	渡里湧水群及び緑地等の保全と活用 (茨城県水戸市)	渡里湧水群を活かす会	都市域の外縁に位置する崖・川際の緑と湧水地の豊かな自然を取り戻すべく、竹・雑草の処理、水路・遊歩道の整備、生・植物の保全、災害時の水資源の確保、住民向け視察会の開催等様々な取組みにより、歴史的環境の保全と生物多様性が創出された。	

◎国土交通大臣賞 <3点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	街中に多様な生物が共生する美しい雑木林を復元 (神奈川県横浜市)	港北ニュータウン緑の会	「森林と水辺、歴史的な遺産を緑道で結ぶ都市計画」により創出された緑を、住民の長年に渡る整備・管理・運営で、荒れた竹林や雑木林の整備、生物調査等に加え、観察会を開催する等、子ども達の自然観察や家族の憩いの場等で利用される雑木林が復元された。	
緑の事業活動部門	グランドメゾン 浄水ガーデンシティ (福岡県福岡市)	積水ハウス株式会社/内山緑地建設株式会社/古賀緑地建設株式会社/清水建設株式会社/株式会社手島建築設計事務所/株式会社フィールドフォー・デザインオフィス	福岡市都心部から程近い広大な敷地において、地名の由来である浄水場跡地の緑地など周辺の自然環境との繋がりと、近隣住民との交流の場や安全な通学路となる緑道の整備などコミュニティの核づくりに取り組んでいるプロジェクト。	
緑のまちづくり部門	「岐阜県都市公園活性化基本戦略」に基づく県営都市公園の活性化 (岐阜県)	岐阜県	平成 28 年に策定された「岐阜県都市公園活性化基本戦略」を基に、主要4公園のコンセプトの再設定等により県営公園全体の底上げを図る取組み。都市公園という形で緑を確実にストックし、これを核に地域産業や人材育成等、総合的な地域づくり等に貢献している。	

◎都市緑化機構会長賞 <3点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	西山古道を核とする京都西山の里山緑化まちづくり事業 (京都府京都市・長岡京市)	特定非営利活動法人京おとくに・街おこしネットワーク	西山三山を結ぶ山岳信仰の道である西山古道の復元・管理と合わせ、放置竹林を伐採し鎮守の森となる緑地公園の開園等により、乙訓地域の魅力づくりや活性化に寄与するとともに、アジサイと陽光桜による緑化活動は街中にも拡大している。	
	生き物の命をつなぐ森づくり (京都府乙訓郡大山崎町)	久保川と天王山の森を守る会	歴史と文化が蓄積された景勝地である天王山を拠点に、地域住民、企業、小学校と共に 2.7ha の放置竹林の整備・管理を行っている。林相を転換することで生物多様性の森とすることを基本理念に、地域住民の散策道や地域小学校の環境教育(ESD)の場を創出している。	
緑の事業活動部門	暫定広場 GOOD PARK プロジェクト (埼玉県大里郡寄居町)	一般社団法人ドコデモヒロバ	中心市街地活性化事業の進む町有地の一部を暫定的に緑化し、コロナ禍における屋外スペースの創出に加え、広場整備や寄せ植え街路樹の実証実験を目的とした事例。寄せ植え植栽パレットによる空間緑化を通じたまちづくりや生態系ネットワークづくりの普及を目指す。	

◎奨励賞 <3点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
緑の市民協働部門	環境保全の大切さを伝える環境活動 (埼玉県狭山市)	特定非営利活動法人ジョイライフさやま	東日本大震災における避難者支援を契機に2011年より活動を開始し、不法投棄に悩む住民の要請により環境整備にも着手を開始した。人間川の水辺林の整備は6年目となり、漁業関係者や行政等と協議しつつ、地域住民に親しまれる水辺林を目指し活動している。	
	緑豊かな公園づくり (新潟県燕市・三条市)	特定非営利活動法人ネットワークみどり緑	未整備であった都市公園を、自然豊かな公園にしようと2001年に市民のボランティア団体が結成され、公園を造成してきた。「三燕みどりの森公園」として供用開始後も管理やイベントを実施し、多くの市民の参加を得、学校等の課外活動の場にもなっている。	
緑のまちづくり部門	グリーンインフラを活用した散歩したくなるまちづくり (大阪府吹田市)	吹田市	市が有する豊かなみどり空間の活用と、みどりの持つ多様な機能活用の視点から、部署間で連携しつつ「健康・医療のまちづくり」を基本方針に掲げた公園の再整備等を進めている。また、市民、大学等様々な連携を通し、多様で新しい緑の活用を検討、展開している。	

(別紙3)

第 20 回 屋上・壁面緑化技術コンクール 審査結果

全国から、屋上緑化部門6点、壁面・特殊緑化部門9点、特定テーマ部門4点、計 19 点の応募があり、次の団体の受賞を決定しました。

◎国土交通大臣賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	SAKURA MACHI Kumamoto (熊本県熊本市)	九州産交ランドマーク 株式会社/株式会社日建設計/ 大成・吉永・岩永・三津野・新規 建設工事共同企業体/ 西武造園株式会社/ 株式会社景匠館/ 株式会社皆楽園	本作品は熊本城の南に位置する花畑公園・花畑広場に隣接するランドマークの緑化である。城とのつながりをよみがえらせるため、地上約 30m に「現代の陽春庭」と位置付けた屋上庭園を配置し、現代では希薄になってしまった熊本城との関係を「熊本城と庭つづき」として再構築した。	
特定テーマ部門	伊勢丹新宿店 本館 7F 日本庭園 (東京都新宿区)	株式会社フィールドフォー・ デザインオフィス/ 株式会社三越伊勢丹 プロパティ・デザイン/ 清水建設株式会社/ 株式会社日比谷アメニス	本作品は既存レストラン、供用スペースに隣接する百貨店の緑化である。日本人が持つ自然観の美を、水をテーマに空を映し込む水盤、時限的に発生する幻想的な霧、筧より注ぐ細やかな水流等で表現した。時や季節の移ろい、野鳥や蝶の飛来を重ね合せ、心の安らぎを与えている。	

◎環境大臣賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	WITH HARAJUKU (東京都渋谷区)	NTT 都市開発株式会社/ 株式会社竹中工務店/ 株式会社伊東豊雄 建築設計事務所/ 株式会社朝日興産	本作品は明治神宮の社に面した鉄道駅前の複合商業施設の緑化である。立体的な通り抜け街路と地域のスケールに合わせた緑化テラスが、街に新たな人の流れを生み出した。建築の層間は、プレキャストコンクリートによる深い庇を緑化し、重層的なボリュームのある緑を創出した。	 @Nacasa & Partners

◎日本経済新聞社賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
屋上緑化部門	ミュージアム タワー京橋 (東京都中央区)	株式会社永坂産業・ 公益財団法人石橋財団 / 株式会社日建設計/ 戸田建設株式会社東京支店/ 内山緑地建設株式会社	本作品は京橋における高さ150mの超高層建築の21～23階の緑化である。執務室からの眺めを意識して設計されたスキップフロア型屋上庭園は、竣工後に検証実験によって、オフィスで働く人の健康や快適性の向上、都市部超高層でのオフィス環境の新しい姿を実現している。	
壁面・特殊緑化部門	住友不動産 ショッピング シティ 有明ガーデン (東京都江東区)	住友不動産株式会社/ 前田建設工業株式会社/ 有限会社テラデザイン一級 建築士事務所/ 株式会社マインドスケープ/ 灯デザイン/ 大和リース株式会社	本作品は湾岸地域の周辺施設・地域間をつなぐ新しい生活拠点の緑化である。多樹種のプランターを積層した「グリーンカーテン」、植栽を積層プランターと光の積層幕で環状にした「グリーンリング」等、圧倒的な緑量で来客者を迎え、自然を感じる寛ぎの場を提供している。	

◎都市緑化機構会長賞 <2点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
壁面・特殊緑化部門	住友商事 美土代ビル 室外機芋緑化 (東京都千代田区)	株式会社日建設計	本作品は蒸散作用で室外機が吸い込む空気の温度を下げる緑化である。実証実験では、夏場のピーク時で約10%の消費電力が低減した。ヒートアイランド現象の低減、光合成による酸素の供給、サツマイモの収穫という付加価値もある、一般の人に親しみやすい緑化技術である。	
	MIYASHITA PARK (東京都渋谷区)	三井不動産株式会社/ 渋谷区/ 株式会社竹中工務店/ 株式会社日建設計/ 西武造園株式会社/ 株式会社グリーンニアン	本作品は立体都市公園制度を活用したPPP事業による緑化である。全長265mにわたるツインアーチによる緑の天蓋(キャノピー)には、長尺つる性植物を事前養生して植栽した。渋谷らしいアクティビティと緑陰を提供しながら、新しいシンボルとなる都市景観をつくりだしている。	

◎奨励賞 <1点>

部門	作品名(場所)	受賞者名	概要	
特定 テーマ 部門	コーセー先端 技術研究所 サンクンガーデン (東京都北区)	株式会社コーセー/ 株式会社日建設計/ 株式会社大林組/ 株式会社日比谷アメニス/ 日本地工株式会社	本作品は都内の閑静な住宅地 の一角に位置する研究所の 緑化である。地下1階から 3階までの吹抜け空間を持つ 2つのサンクンガーデンに、ワ イヤーやチェーンをつたって 垂直に生長するつる植物を配 し、各階ごとに印象の異なる 「立体的なみどりの風景」が 生み出されている。	

以上